



．．．新磯地区．．．

新磯地区は、水田地帯や相模川、「勝坂式土器」の名で知られる「勝坂遺跡」など、自然と文化を満喫できる地区です。江戸時代から伝わる「相模の大凧まつり」には、県内外から多くの観光客が訪れています。

新磯地区優秀賞



【撮影者】坂上 和正

【タイトル】コロナから脱出

【撮影場所】三段の滝付近

【コメント】毎日外出自粛で、もうクタクタ！コロナ抜きの新鮮な空気を吸いたくて相模川に。ところが河原には人がいっぱい。太公望をきめこむ人、走り回る子ども連れ、楽しそうなアベック。みんな元気いっぱい。広い相模川なら絶対”三密”無し。コロナなんて川の水と流れてけ！！

審査員寸評

作者は密を避けて相模川に行ってみたとのこと。河原でののんびりとした釣り風景を収めることができました。撮影は新緑の季節だったので、草木の緑がとても爽やかで水の色もコバルトブルーに似た素晴らしい色味を捉えることができました。現場の環境を示しながら創り上げた構図が決まっています。

【撮影者】西辻 豊

【タイトル】新規リーグ開幕

【撮影場所】勝坂歴史公園

【コメント】2020年3月 もう直ぐ新しいサッカーリーグが開幕します。グラウンドの子どもたちは、今日も額に汗を流しながら練習に励んでいました。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】西辻 豊

【タイトル】菜花の郷

【撮影場所】新磯

【コメント】2019年4月 桜と菜の花が同時に咲く頃に、色んな蝶が飛び交い、メジロやヒバリの声も聞こえてきます。レンゲも辺り一面に咲いていました。

【撮影者】遠藤 康明

【タイトル】秋の休耕田

【撮影場所】磯部の田んぼ

【コメント】子どもの頃を思い出させてくれる田園風景が今も残るこの地域の風景が好きです。秋の収穫を終えた田んぼの水が少ない中で、優しい日差しを浴びながらダイサギが獲物を捕った瞬間が撮れました。



【撮影者】山口 光子

【タイトル】白鷺遊ぶ相模川

【撮影場所】相模川 磯部

【コメント】磯部頭首工近くの相模川には、白鷺やカワウ、カモなど多くの野鳥が見られます。多い時は、30羽もの白鷺が遊んでいます。相模川でゆったりするのが好きです。





【撮影者】齋藤 幸子

【タイトル】祈り

【撮影場所】磯部勝坂

【コメント】左右に小さな田んぼがあり、野草の花が咲く遊歩道を抜けると今では贅沢なほど静かな場所に有鹿神社の鳥居と祠があった。どれほど多くの人々がこの鳥居の前で祈ったのか。そんなことを思いながら撮った一枚です。



【撮影者】齋藤 幸子

【タイトル】静寂

【撮影場所】磯部勝坂

【コメント】山から湧水が流れ、グリーンの草の上に光が差し、そのコントラストがとても幻想的でした。こんな近間にこんな贅沢な場所があったなんて、幸せな事です。

【撮影者】秋田 久直

【タイトル】咲き誇る芝ざくら

【撮影場所】磯部

【コメント】コロナ禍で人手が少ないなかで、例年と同じように手入れの行き届いた芝ざくらが咲き誇っていました。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】島田 正幸

【タイトル】春が来た～！

【撮影場所】市営峯山霊園

【コメント】桜と花桃と一緒に、春を運んで来てくれました。

【撮影者】高橋 ゆかり

【タイトル】神様の住い

【撮影場所】有鹿神社

【コメント】木立の中を進むと、崖の下に小さな鳥居がありました。調べたところ、有鹿神社の奥宮で、有鹿は水を意味しているとか。きっと命を繋ぐ水が貴重であったその昔に、コンコンと湧き出るこの水源が神の恵みとして崇められたのでしょうね。秋の午後の日射しが鳥居に差し込んで、何だかとても厳かに感じました。



【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】春爛漫

【撮影場所】新磯相模川河川敷

【コメント】快晴の気候で、斜面の芝ざくら土手の染井吉野ともに満開で絶好の花見日和で、多くの観光客が花見を楽しんでいました。



【撮影者】栗田 幸三郎

【タイトル】豊穣に華

【撮影場所】新戸の稲田

【コメント】変わらぬ新戸の田園、今年も広がる青空に緩やかに流れる秋の白雲 こうべを垂れ、豊かに稔った稲穂に華を添える「曼珠沙華」の紅が自然の恵みを讃える。「2020年の特別な秋」です。

